

文節の働き「文の成分」について確認しよう②

一、次の①～③の文を例にならって文節に区切りましょう。

例 日本で一番一番高い一山は一富士山です。(一は区切りを示します。)

- ① 千葉県の県庁は千葉市にあります。
- ② 千葉県には三十六の市と十六の町と一つの村があります。
- ③ 千葉県は全国でも有数の農産物の産地です。

二、次の①～③の文を文節に分け、() 内で指定された文節の文の成分を後の表から選び、書きましよう。

- ① 国内産の落花生の約八割が千葉県で生産されたものです。
(上から四番目の文節) ↓ 「 」
- ② 千葉県の梨の収穫量、産出額は日本一です。
(上から五番目の文節) ↓ 「 」
- ③ また、千葉県は産出額が全国で第二位のサツマイモの産地です。
(上から二番目の文節) ↓ 「 」

文の成分	文の成分の説明
主語	「誰が」「何が」にあたる文節。
述語	「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある・いる」にあたる文節。
修飾語	「いつ」「どこで」「何を」「どのように」などにあたる文節。
接続語	文と文、語と語などをつなぐ。
独立語	他の文節と直接の関係を持たない。あいさつ、掛け声など。

三、次の——部の二つの文節の関係を後の表から選び、書きましよう。

- ① 「ふさががね」と「ふさおとめ」は千葉県が育成したお米です。「 」
- ② チーバくんは千葉県の農産物が大好きです。「 」

文節の関係	文節の関係の説明
主語・述語の関係	「誰が」——「どうする」など、文の基本となる文節の関係。
修飾・被修飾の関係	詳しくする文節と、状態や様子が詳しくなる文節の関係。
並立の関係	二つ以上の文節が、文の中で対等の位置にある関係。
補助の関係	下の文節が上の文節を補助する関係。

文節の働き「文の成分」について確認しよう②

一、次の①～③の文を例にならって文節に区切りましょう。

例 日本で一番高い山は富士山です。(一は区切りを示します。)

- ① 千葉県の一県庁は千葉市に—あります。
- ② 千葉県には一三十六の一市と一十六の一町と一一つの一村が—あります。
- ③ 千葉県は—全国でも—有数の—農産物の—産地です。

二、次の①～③の文を文節に分け、() 内で指定された文節の文の成分を後の表から選び、書きましよう。

- ① 国内産の—落花生の—約八割が—千葉県で—生産された—ものです。
(上から四番目の文節) ↓ 「修飾語」
- ② 千葉県の—梨の—収穫量、—産出額は—日本—です。
(上から五番目の文節) ↓ 「述語」
- ③ また、—千葉県は—産出額が—全国で—第二位の—サツマイモの—産地です。
(上から二番目の文節) ↓ 「主語」

文の成分	文の成分の説明
主語	「誰が」「何が」にあたる文節。
述語	「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある・いる」にあたる文節。
修飾語	「いつ」「どこで」「何を」「どのように」などにあたる文節。
接続語	文と文、語と語などをつなぐ。
独立語	他の文節と直接の関係を持たない。あいさつ、掛け声など。

三、次の—部の二つの文節の関係を後の表から選び、書きましよう。

- ① 「ふさがね」と「ふさおとめ」は千葉県が育成したお米です。「並立の関係」
- ② チーバくんは千葉県の農産物が大好きです。「主語・述語の関係」

文節の関係	文節の関係の説明
主語・述語の関係	「誰が」—「どうする」など、文の基本となる文節の関係。
修飾・被修飾の関係	詳しくする文節と、状態や様子が詳しくなる文節の関係。
並立の関係	二つ以上の文節が、文の中で対等の位置にある関係。
補助の関係	下の文節が上の文節を補助する関係。